

年 組 名前 :



繭玉に見立てた飾りを設置する店主

|| 甲府市中央1丁目

甲府

三枝 大悟
杉原みずき

中心街 繭玉で彩り
「大神さん」控え設置進む

甲府市中心部で2月3日に開かれる「甲府大神宮祭」(大神さん)を前に、中心商店街で繭玉に見立てた飾りの設置が進められている。

「桜座」の常連客や店主らでつくる「繭の森プロジェクト」(大森真代表)が企画。大神さんの開催日が旧暦の正月に近いことから、新春の風物詩である繭玉の飾りで街を彩ろうと、2011年から実施している。

飾りはピンクや黄色、緑色など色とりどりの樹脂粘土を繭玉に見立てて丸め、木の枝に取り付けている。各店の軒先に飾られていて、店ごと

に形や色を自由にアレンジした飾りも見られる。

飾りを設置した銀座通り商店街協同組合の穴水昭弘理事長は「大変な一年の始まりになったが、大神さんは甲府に春の訪れを告げるお祭りなので盛り上げたい」と話した。商店街での設置は2月17日まで。

プロジェクトでは同3日午後3時から、「フルونت甲府」(同市中央1丁目)で、店主らが発泡スチロールで作った鬼の角を来場者に配布。角の絵付け体験や書き初めのコーナーも用意する。無料。

〈杉原みずき〉

(2024年1月25日付 山梨日日新聞17面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 繭玉に見立てた飾りの設置は、なん年から実施していて、今年はいつまで飾りますか。

..... 年から 今年はいつ 月 日まで

問2 どのような色の繭玉が飾られていますか。

.....

問3 2月3日の大神さんでは、来場者に、なにを配りましたか。

.....